



統合創立十周年記念 校歌碑除幕式

統合10周年記念で校歌碑



校歌碑の除幕式

OIDE 長姫高 同窓会寄贈「シンボルに」

今年で統合から10周年を迎える飯田OIDE長姫高校で、同窓会が学校に校歌碑を寄贈した。13日には除幕式があり、完成した校歌碑が披露された。

同校は2013年、飯田長姫高校と飯田工業高校の統合により開校。校歌は飯田市出身の作曲家羽場仁志さん(60)が作詞作曲を手掛けた。校歌碑は昇降口近くに設置。高さ約1・5メートル、幅約2メートル、奥行き約0・8メートル、地元産の花こう岩を使用した。除幕式には学校関係者や同窓会、施工会社、羽場さんらが出席。多くの生徒も見守る中で幕が取り除かれた。

あいさつで須山和彦同窓会長(75)は「同窓会で校歌碑がないのは寂しいとの声があり、設置した。校歌だけでなく校歌碑も大切にして学校のシンボルにしてほしい」と語った。松原均校長は「校歌は生徒だけでなく卒業生や地域住民にとっても心の支え。立派な碑を寄贈していただきありがたい」、生徒会長の福澤麗さん(17)は「私は『空に虹が架かる』という歌

詞が好き。この歌詞のように学校の未来に虹が架かってほしい」とそれぞれ感謝を伝えた。羽場さんは楽曲に込めた思いなどを語り「10年、20年といわず100年先もこの地に残る校歌となってほしい」と願った。同窓会は校歌碑のほか、ワゴン車と吹奏楽部用の校歌の楽譜を寄贈。除幕式では吹奏楽部が初めての校歌演奏を披露した。10月7日には実行委員会主催の統合創立10周年記念式典が飯田文化会館で開かれる。

統合創立10周年記念式典 令和5年10月7日 午後1時30分より 飯田市文化会館
午後2時30分より 生徒発表

掲載記事提供: (株)南信州新聞社